

大会プログラム

11月8日(水) 9時～12時：自由報告

第一会場 司会 大内雅利(明治大学)

- 高橋由紀 「女性跡継ぎのイエ継承意識—山形県浅美町(仮称)の事例から」
渡辺めぐみ 『配偶者問題』にみるジェンダー」
市田知子 「戦後改革期と農村女性—生活改善普及事業の県レベルでの展開を手がかりに—」
佐藤晴香 「昭和初期の農村復興における社会組織の役割—群馬県北橘村大字真壁の経済更生運動を通して—」

第二会場 司会 鳥越皓之(筑波大学)

- 福田 恵 「村落による林野共同所有の変容—島根県伯太町下十年畑の事例—」
林 在圭 「韓国宗族マウルにおける水利慣行—忠南唐津郡—宗族マウルの事例—」
小林和美 「韓国大都市外郭農村における若年層流出とその要因—大邱広域市B里の事例から—」
矢野晋吾 「酒造出稼ぎと村・家・個人—農業・農外労働セット化の一試論」

11月8日(水) 13時30分～16時30分：自由報告

第一会場 司会 古川 彰(中京大学)

- 岩本由輝 「近世後期陸奥中村落における新百姓の受容—中郷萱原村の事例から—」
星 眞理子 「村落社会における宮座の持続と変容—頭屋制度を焦点にして—」
村上弥生 「祭事組織構造と集落の現状—和歌山県・奈良県の事例から—」
武笠俊一 「親方経営の解体と子方経営の自立—近代化の説明原理としての有賀理論—」

第二会場 司会 青木辰司(東洋大学)

- 田中一宏 「領域構造の機能について—長野県川上村土壌資源枯渇の事例を主材料として—」
家中 茂 「地域活性化事業における住民の主体性—沖縄県大里村の事例から—」
徳野貞雄 「阿蘇の草原は誰によって維持されているか……」
大野 晃他 「条件不利地域の現状と再生への課題—日本とルーマニア・スウェーデンの比較研究—」

11月9日(木)

テーマセッション：9時～12時(報告)、13時～15時(討議)

「日本農業・農村の史的展開と転機に立つ農政―第2次大戦後を中心に―」

1. テーマ解題：日本農業・農村の史的展開と転機に立つ農政

―第2次大戦後を中心に―

山形大学 大川健嗣

2. 東西日本における戦後農政の展開とその帰結

(1) 西日本：東海地方における戦後農政の推移と農業・農村

三重大学 大原興太郎

(2) 東日本：庄内地方に見る戦後農政の推移と農業・農村

岩手県立大学 細谷 昂

3. 21世紀農業・農村の課題

(1) 食料・農業・農村基本法の形成プロセスと特徴

農業総研 堀越孝良

(2) 戦後農業・農村・農政問題を、どう総括するのか

―前記3報告のコメント的考察―

東京農業大学 磯辺俊彦

現地セッション：15時30分～17時30分

「明浜町のみかん産業の将来」

座長：未定

報告者：山下重政(東宇和農協青果部長)、片山元治(無茶々園代表取締役)